




275
福山市立大学
教育学部
児童教育学科2年
樋口心優さん
MIYU HIGUCHI

こんにちは キャンパス訪問

 FUKUYAMA CITY UNIVERSITY 〒720-0964 広島県福山市港町2-19-1
福山市立大学 電話番号:084-999-1111(代表) FAX番号:084-928-1248
E-mail:info@frcu.ac.jp

子供の頃から保育士志望 保育所での実習も控える

静岡県伊豆市出身の樋口さんは子供の頃から保育士志望で、高校三年時に近隣を中心にどの大学に進学するか模索していた。なかなか志望する大学が見つからない中、進路担当の先生から福山市立大を勧められた。「全国の大学に詳しい先生で、福山市立大のことが好きだったみたいです」

当初は「広島県は遠い」と思ったが、勤めに従い見学に訪れた。すでにオープンキャンパスは終了していたが、先生が市立大の担当者と連絡を取り、受け入れてもらった。「実習や実地体験に力を入れていて、教育支援センターでは時間をかけて学生の相談に乗ってくれる。一緒に回ってくれた四年生の方も優しかった」と、すぐに進学を決めた。

市立大に進んで一年がたった。「規模が大きな大学ではない分、保育コースの同級生はみんな仲が良い」と話す。一番印象に残った授業は模擬保育。事前に自分たちで何時間も時間をかけて想定や構成を考えた。「大変だったが、楽しかった」と振り返る。

樋口さんは小学三年生から

バレーボールを始め、中学・高校でも本格的に打ち込んだ。「小中高と、ずっとキャプテンでした」。大学でも女子バレー部に所属する。「バレー部があったことも、進学を決め手だったかもしれないですね」と笑う。二年生から現場での実習が始まる。実習先の保育所も決まっているそうだ。「昔からキャリーワゴンに子供を乗せて歩きたいと思っていた。楽しみな半面、そわそわしています」とか。

ただ図画や工作が苦手だそうで、「ものづくりのセンスを磨きたい」と課題も口にする。「子供の頃にしかない感性を大事にする保育士になりたい」と意気込む。



女子バレー部のチームメイトと